

## LiSA サポーターズ外部研修等参加報告書

- 1 研修等名 「第 61 回 神奈川県高等学校 PTA 連合大会」
- 2 会場 パシフィコ横浜会議センター
- 3 参加者 会長
- 4 日時 令和 5 年 12 月 10 日（日）12：30～17：00

### 内容

#### 大会開会式

#### 主催者挨拶

##### 神奈川県高等学校 PTA 連合会会長

昨年度から、家庭科で資産形成の授業が取入れられており、本日は、パッキンマッくんによる「お金にまつわる笑撃的国際交流」というご講演をいただくことになっています。大変興味深い話題をコミカルタッチで分かりやすくお話しいただけるとと思いますので楽しみにして下さいと挨拶されました。

##### 神奈川県立学校校長会議議長

コロナ過による影響もあり、学校説明会を学校の教室に分散してリモート形式（モニターを通しての説明）で行った。あくまで対面による方式にこだわったかったが、参加者から、机がありメモが取りやすかった、モニターが良く見えて分かりやすかった、等の意見を聴いて、この方式もありなのかなと考えさせられた。また、ネット上では時より PTA の必要性が話題に上ることがあるが、教員と保護者が手を取り合って活動して行く重要なものであり、本日の大会に於いても活動事例発表が各校 PTA 活動の参考となるものと考えますと挨拶されました。

#### 来賓挨拶

##### 神奈川県教育委員会教育長

学校運営には、家庭、地域との連携が欠かせないものとなっています。最近はいじめ問題の他にヤングケアラーの問題など生徒自身が抱える悩みを少しでも早く解決や負担の軽減化に対応するため週一回ではあるがスクールカウンセラーを全校に配置することが出来ました。生徒達の学び舎がより良いものとなる様努めてまいりますと挨拶されました。

##### 財神奈川県立高等学校安全振興会理事長

安全振興会は学校管理下における事故等に対する見舞金の給付だけではなく高 P 連活動の支援事業も行っていますと挨拶されました。

#### 表彰

##### 県知事感謝状贈呈

前高 P 連副会長に贈呈（3 年以上在任され、前年度退任された方）

##### 高 P 連会長感謝状贈呈

前高 P 連副会長、理事、計 10 名（前年度退任された方）

##### 高 P 連会長表彰

前年度理事校 10 校（相模原地区は県立橋本高等学校）

#### 謝辞 前年度高 P 連副会長

高 P 連役員としての活動が、新型コロナウイルスによる行動制限下の時期と重なり、変革の流れの中、オンラインによる会議の実施など知恵を出しながら活動出来たことが思い出されます。大変ではあったが一緒に活動した皆さんには感謝しかありませんと謝辞を述べられました。

## 作文コンクール受賞作品朗読

最優秀賞 2名の作文を筆者の朗読で紹介されました。

「健康のありがたみ」 3年

中学生の時に起立性調節障害を患った生徒が、思う様に体が言うことを聞かない学校に行きたくても行けない、親にも理解して貰えない苦しく辛い時期を乗り越え、前向きな意識を持ってチャレンジする高校生活を送り、将来は健康を維持出来ない理由で挑戦する場面を奪われる生徒を救いたいと教員を目指しているとの内容でした。

「青い林檎、紅い葡萄」 3年

小学生の頃、林檎は紅い、葡萄は青いという固定概念に対し、お友達は林檎を青く、葡萄を紅く描いたことがあり、なぜそう描いたのか分からなかった。高校生となった今、コロナ過で生活習慣が変化した時期に詩や短歌を詠むことが趣味になり、詩を詠んでいたときに、表現することは自由だ！ということに気付かされ、自身が小学生の時のお友達の描いたものはその子の表現だったことが理解できた。

ただ、今は余りにも相手のことを考えず文字だけで書き込みが出来てしまう時代、相手の表現を否定するのではなく新たな視点で捉えることも大切であるとの内容でした。

(寄稿された作文は安全振興会会報に掲載されると思いますので是非ご一読下さい。)

二人の朗読は本当に素晴らしい内容でした。辛く苦しい時期に本人が望むことと両親が与えたことのギャップを感じる一節があり、考えさせられます。ただ、その苦しい時期を乗り越えて本当の自分らしさを見つけ前向きに歩む姿勢に感銘を受けました。一方、相手の表現や話をきちんと受け止めること。また、決してSNSなどで相手を否定することをしてはいけないということ。二人とも18歳となった今、感じ取れることを素直に表現されていたと思います。新たな夢、目標に向かって邁進して欲しいと願うばかりです。教育者になる夢を実現された暁には本校の教壇に立って欲しいと思います。

この発表を生徒の生の声で聴けて言葉一つ一つに語り掛ける力と言うより訴え掛ける力強さを感じました。

これだけでも今日この場に來た甲斐がありました。(会長コメントでした。)

## 広報誌表紙コンクール

優秀賞 七里ガ浜高等学校 PTA

## 広報誌コンクール

最優秀賞 神奈川総合高等学校パートナーズ

優秀賞 教育長賞 多摩高等学校 PTA

高P連会長賞 生田東高等学校 PTA

神奈川新聞社賞 七里ガ浜高等学校 PTA

安全振興会賞 海洋科学高等学校 PTA

以上各校の広報誌が受賞されました。受賞された広報誌は各校の特徴を生かして作成され、力入ってるなと感じます。ちなみに休憩時間に数校の会長さんに受賞おめでとうございますと祝いの言葉を掛けられましたが、神奈川総合と神奈川総合産業を間違えていらっしゃるようです。改めて学校名をLiSA高等学校に改名しましょう。悔しいので広報委員会を復活させようかな！(会長より。)

## PTA 活動事例発表

### (1) 舞岡高等学校 PTA 「マイタケプロジェクト」

「マイオカ タケノコ プロジェクト」とは校地の3分の1を占める竹林を活用した取り組みで、竹林の整備を、教育活動に活用している。竹林の整備だけではなく、タケノコや竹を地域活動で活用している。PTA のOB も参加し、継続した活動となっており、竹を活用した取り組みとして、竹炭の配布、竹灯籠づくり、バンブースプラッシュ（水鉄砲）の作成などをし、ワークショップなどの地域イベントでも活用されていると発表されました。

### (2) 相模原高等学校 PTA 「PTA活動の紹介と『神奈川県まなびや基金』の活用」

相模原高等学校 PTA の活動事例発表については、高P連相模原地区協議会大会の報告書をご参照下さい。

舞岡高等学校 PTA の発表は、地の利を生かした学校と生徒達の活動紹介的な感じが強かったですが、もちろん活動にPTA が協力し補助活動を行っているとの内容で学校の竹林を地域活性化の一助となる有意義な取り組みであると感じました。（会長コメントでした。）

## 記念講演

講師 パックン・マックン

演題 「お金にまつわる笑撃的国際交流」

## 内 容

日本とアメリカのお金に対する考え方の違いをコミカルに演出されていました。

日本では幼少期より、お金は貯金することが美德とされ、自ら使うお金もお小遣いとして与えられます。一方、アメリカでは勤労によって対価を得るという考え方で、自分が使うお金はお手伝い等の対価として与えられる文化の違いを説明されていました。

また、ある程度の貯金が出来ると日本は貯蓄、アメリカでは投資にまわすという考え方だそうです。この低金利時代投資をするという選択肢も視野に入れて見ることは資産形成する上で有効な手立ての一つであると考えべきでしょう。

但し、投資にはリスクが必ず伴いますリスクについて理解した上で投資を検討して下さい。世の中にはノーリスク、ハイリターンを謳っている金融商品があつたりします。投資でノーリスク、ハイリターンそんなことは絶対にあり得ません。もし、ノーリスク、ハイリターンの話を持ち掛けられたらそれは絶対「詐欺」なので注意して下さい。また、消費者ホットライン「188」に電話して確認しましょう。怪しい商品や会社はコールすると内容に対する苦情や問い合わせがあるかなど教えて貰えます。それでは皆さん良い資産運用を考えてみて下さいとの内容でした。

会場から、パックン・マックンに子育てについての質問がありました。

問い：子どもが解らないことに対してどう接していたか。

パックン：正解を教えない。どう思いどう考えたのか、子どものアイデアを聴くそして自分のアイデアを話し一緒に調べる。自分の母親は子どもが頑張っている姿を見て褒める。（結果を褒めるのでは無い。結果は付いてくるもの。）よく笑ってくれた。

マックン：食事をしながら話をする。親子のコミュニケーションを大事にしている。

今日のテーマは、お金の話なのですが、漫才ですから面白く楽しい講演でした。是非皆さんもチャンスがあればパックン・マックンの講演を見ていただければと思います。

By 会長でした。